

## 鳩山総理と日本バイオ産業人会議代表者6名との面談(メモ)

日 時:平成21年12月3日(木) 15時過ぎから約30分間

場 所:総理官邸5階総理応接室

出席者:鳩山由紀夫内閣総理大臣(以下、総理と略記)

日本バイオ産業人会議の歌田世話人代表ら6名(別紙)

同席:衆議院議員 城島光力(こうりき)氏

1) 歌田代表から鳩山総理に資料を使って次のことを申し上げました。

①少子高齢化が進む中で、少資源国の我が国が持続的に発展するため必要なことはイノベーション・科学技術を大切にした取組みの重要性、新しい「科学技術戦略」の必要性を申し上げました。

②新21世紀はバイオテクノロジーの時代と言われおり、現にバイオ関連の技術革新は目覚しく、バイオ産業は大競争時代に突入しています。政治主導、産学官で、新しい「バイオ成長戦略」を策定することが重要であると申し上げました。

③具体的な内容概略

(1)世界・日本ともにバイオ産業は爆発的に発展、「バイオ成長戦略」が必要

・世界はバイオを国家の基幹技術・基幹産業として集中的に資源投入

バイオ産業はイノベーション創造・研究開発力が決め手

・新しい「科学技術戦略」の策定を

(2)バイオ技術・産業が創り上げる未来:例示と夫々の規制改革等

・「生きる(健康・医療・医薬等):バイオ医薬品、iPS 再生医療、医療機器、IT  
研究成果を実用化するまでの規制問題

・「食べる」:世界の食糧問題解決、健康・機能性食品、耐環境作物  
国民の理解や規制改革

・「くらす」(グリーンイノベーション):再生可能バイオマスとエネルギー、素材  
実用化を促進する政策

(3)「バイオ成長戦略」推進に向けた重要政策課題

・継続的なイノベーション創造の研究盤強化:研究資源、総合戦略

・社会システムの変革:研究を早く社会還元、ベンチャー・クラスター支援、  
法整備

・教育や国民理解:人材、理科・科学教育、国民理解促進

2) 各代表者からのコメント(敬称略)

①庄田:バイオ医薬品は重要な位置づけであり、成長が期待される。iPS細胞の研究

には知的財産戦略が重要であり、製薬協がプロジェクトで、産学連携しながら支援している。

○総理:アメリカに(知的財産を)なにもかも握られるのは戦略的な遅れですか？

⇒(庄田):国としての戦略的な遅れと考えます。

○総理:ヒトゲノム解読では日本の寄与が低かったが、・・・

②平田:(完全長 cDNA のライブラリー60%保有の利を活かし)ヒト遺伝子の総合 DB では日本はリードしている。JBIC(バイオ産業情報化コンソーシアム)では産官学の連携でポストゲノムの開発研究を進めている。生命はまだ未知の領域が多いので基礎・基盤研究の継続的支援をお願いしたい。社会還元のためには橋渡し研究に一層の予算とマネジメントの強化策が必要です。

③荒蒔:コメの遺伝子解析が進みました。このような成果を使ってアジアに協力体制を築き現地の発展に貢献することが大切だと思います。コメの知的財産の活用で世界戦略も考えられます。

○総理:「(私達は)自然にバイオを使っているのですね」との認識を示されました。

④冨澤:バイオプラスチックはまだ製品(産業規模)が小さいが、化石資源からバイオ資源への代替が進むと考えています。まだ、基礎段階であり用途が限られています。出来るだけ早く国のプロジェクトとして取り組む必要があると考えます。

⑤大石:率直に申し上げて日本の将来や科学技術を心配しています。世界はバイオに国家資源を大規模に投入しています。特に中国は人材・予算を投入して発展しています。バイオは重要で日本の中核となると思います。遺伝子組換え(技術)は規制を緩めれば発展させる効果があります。

○総理:(国民には)遺伝子組換え(食品等)に対してアレルギーがありますが、科学的にみて安全なのですか。

⇒(大石)健康上全く問題がないことは科学的に確立しております。逆にむしろ、組換え農作物は非組換え農作物に比べて農薬による汚染が少ないという利点があります。是非、組換え農作物に対する国民理解の推進のために政府のリーダーシップをお願いします。

### 3) 総括コメント

歌田:(バイオは)非常に多岐にわたるので、各省大臣にもお願いしますが、総理大臣のお声がかかりで総合戦略、将来計画を立てていただくようお願いします。

○総理:分かりました。

最後に、総理はアメリカに留学された思い出話を入れ、ユーモアを交えて次のようにコメントされました。

○総理:(私は)バイオに関する研究をしたことがあります。アメリカに留学した時に、バイオニクス(\*注)、細胞でコンピューターの研究をしていましたが実りませんでした。こういう(政治家・総理)ことになった。バイオを大切にしたい。せめて罪滅ぼしに是非ともバイオについて少しでもお手伝いできればと思っています。

\*注:バイオニクス(バイオと工学の融合技術)

○総理:本日は短時間でしたが、お出で頂いてありがとうございます。

JABEX の代表者らは「是非ともよろしく願います」と返礼しました。

総理は各 JABEX の代表者がお話されている際はその方向に姿勢を向けられ、時折メモを取りながら聞いておられました。また、JABEX の代表者らが退出する際には出口で見送られました。

(追記)

面談冒頭に歌田代表から総理に青いバラを差し上げました。

総理は「幻の青いバラをこんなにたくさんありがとう」と言われ、大変感激されていました。

(日本バイオ産業人会議事務局)

#### 日本バイオ産業人会議 出席者

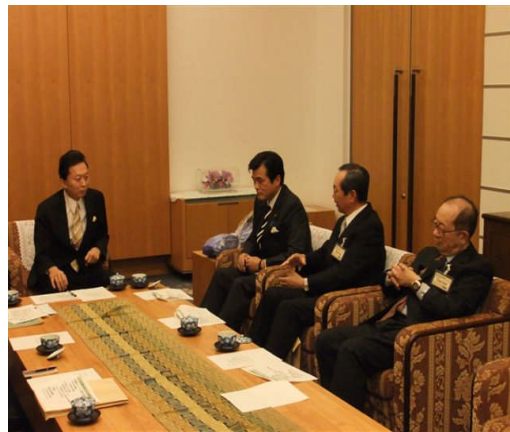
歌田 勝弘	(日本バイオ産業人会議 世話人代表、味の素(株) 特別顧問)
庄田 隆	(日本製薬工業協会 会長、第一三共(株) 代表取締役社長)
荒蒔 康一郎	((社)農林水産先端技術産業振興センター 会長、キリンホールディングス(株) 相談役)
平田 正	((社)バイオ産業情報化コンソーシアム 副会長、協和発酵キリン(株) 名誉相談役)
富澤 龍一	(日本バイオプラスチック協会 会長、(株)三菱ケミカルホールディングス 取締役会長)
大石 道夫	(財)財団法人バイオインダストリー協会 副会長、財団法人かずさDNA 研究所所長)



写真:面談の様子 全体図



写真左:平田氏、荒蒔氏、庄田氏、歌田氏、鳩山総理



写真右:鳩山総理、城島議員、富澤氏、大石氏

(日本バイオ産業人会議事務局撮影)